

2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月8日

上場会社名 シンフォニアテクノロジー株式会社

上場取引所 東

コード番号 6507 URL <http://www.sinfo-t.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斉藤 文則

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 総務秘書グループ長 (氏名) 中村 達也

TEL 03-5473-1800

四半期報告書提出予定日 2019年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	61,776	9.4	2,431	42.5	2,512	48.1	1,713	39.5
2018年3月期第3四半期	56,469	6.0	1,706	28.3	1,696	7.2	1,228	27.6

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 98百万円 (97.0%) 2018年3月期第3四半期 3,349百万円 (87.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	57.63	
2018年3月期第3四半期	41.30	

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	102,552	40,003	39.0
2018年3月期	105,165	40,947	38.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 40,003百万円 2018年3月期 40,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		7.00	7.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細については「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	5.2	6,700	5.8	6,600	6.2	4,700	10.6	158.06

(注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

2. 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	29,789,122 株	2018年3月期	29,789,122 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	55,030 株	2018年3月期	54,157 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	29,734,521 株	2018年3月期3Q	29,736,228 株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。なお、連結業績予想についての事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は2018年6月28日開催の第94回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、2018年10月1日付で、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合を考慮しない場合の2019年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。
 - 2019年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 8円00銭
 - 2019年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 31円61銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

※ (別添資料) 2019年3月期 [2018年度] 第3四半期決算補足説明資料(連結)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年12月31日)における当社グループを取り巻く経営環境は、海外においては、中国の景気減速が顕著になるなど不透明感が出てまいりましたが、米国の堅調な企業業況を背景にした設備投資の増加や東南アジア諸国での堅調な内需に支えられ、底堅く推移いたしました。国内においても、期間後半には設備投資に対する慎重姿勢も見られましたが、省力化や設備更新の需要による民間設備投資に支えられ、総じて景気は安定的に推移いたしました。

このような景況の下で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高につきましては617億76百万円(前年同四半期比9.4%増)となりました。損益面につきましては、営業利益は24億31百万円(前年同四半期比42.5%増)、経常利益は25億12百万円(前年同四半期比48.1%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億13百万円(前年同四半期比39.5%増)となりました。

なお、当社グループの事業構造として、公共・社会インフラ等の設備関連機器の売上が第2四半期(7～9月)及び第4四半期(1～3月)に集中する傾向があるため、四半期別の業績には季節的変動があります。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

モーション機器事業は、モーションシステム機器、プリンタシステム等の増加により、事業全体の売上高は259億65百万円(前年同四半期比8.7%増)となりました。損益面につきましては、売上高の増加及び機種構成の変化により、営業利益は8億64百万円(前年同四半期比126.2%増)となりました。

パワーエレクトロニクス機器事業は、クリーン搬送機器、パーツフィーダ等の増加により、事業全体の売上高は242億40百万円(前年同四半期比8.6%増)となりましたが、損益面につきましては、社会インフラでの工事費の増加などにより、営業利益は12億95百万円(前年同四半期比24.1%減)となりました。

サポート&エンジニアリング事業は、設備工事の増加等により、事業全体の売上高は115億69百万円(前年同四半期比12.8%増)となりました。損益面につきましては、営業利益は3億22百万円(前年同四半期は営業損失3億29百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,025億52百万円となり、前連結会計年度末より26億13百万円減少いたしました。これは、主として受取手形及び売掛金が75億84百万円、投資有価証券が27億7百万円それぞれ減少したこと、たな卸資産が67億94百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は625億48百万円となり、前連結会計年度末より16億70百万円減少いたしました。これは、主として支払手形及び買掛金が19億17百万円、未払法人税等が14億2百万円それぞれ減少したこと、借入金が15億78百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は400億3百万円となり、前連結会計年度末より9億43百万円減少いたしました。これは、その他有価証券評価差額金が19億5百万円減少したこと、利益剰余金が6億72百万円、退職給付に係る調整累計額が2億43百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの2019年3月期通期の連結業績予想につきましては、売上高は前回発表値どおりとなるものの、利益面につきましては、新規案件や工事案件等、一部の個別案件で費用が増加した影響等により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益ともに、前回発表値を下回る見込みであります。

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	95,000	7,800	7,500	5,400	181.61
今回修正予想 (B)	95,000	6,700	6,600	4,700	158.06
増減額 (B-A)	—	△1,100	△900	△700	—
増減率 (%)	—	△14.1	△12.0	△13.0	—
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	90,323	7,109	7,033	5,255	176.73

(注) 業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,406	5,818
受取手形及び売掛金	35,327	27,743
商品及び製品	1,111	1,732
仕掛品	8,752	13,654
原材料及び貯蔵品	5,731	7,002
その他	1,257	941
貸倒引当金	△37	△29
流動資産合計	58,549	56,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,805	10,486
土地	14,580	14,587
その他(純額)	4,972	5,709
有形固定資産合計	30,358	30,783
無形固定資産	2,708	3,550
投資その他の資産		
投資有価証券	10,634	7,927
その他	2,961	3,474
貸倒引当金	△48	△47
投資その他の資産合計	13,548	11,354
固定資産合計	46,615	45,687
資産合計	105,165	102,552

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,032	19,115
短期借入金	7,884	9,474
1年内返済予定の長期借入金	4,165	3,687
未払法人税等	1,482	80
受注損失引当金	212	764
その他	11,145	11,099
流動負債合計	45,921	44,221
固定負債		
長期借入金	10,824	11,290
役員退職慰労引当金	93	108
環境対策引当金	305	305
退職給付に係る負債	4,187	3,869
その他	2,885	2,753
固定負債合計	18,297	18,327
負債合計	64,218	62,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,156	10,156
資本剰余金	452	452
利益剰余金	22,131	22,803
自己株式	△69	△70
株主資本合計	32,671	33,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,863	2,957
繰延ヘッジ損益	△8	△0
土地再評価差額金	3,913	3,913
為替換算調整勘定	226	266
退職給付に係る調整累計額	△719	△476
その他の包括利益累計額合計	8,275	6,661
純資産合計	40,947	40,003
負債純資産合計	105,165	102,552

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	56,469	61,776
売上原価	44,308	48,465
売上総利益	12,160	13,310
販売費及び一般管理費	10,453	10,878
営業利益	1,706	2,431
営業外収益		
受取利息及び配当金	180	200
為替差益	—	123
その他	63	96
営業外収益合計	244	420
営業外費用		
支払利息	145	115
支払補償費	0	122
その他	107	101
営業外費用合計	253	339
経常利益	1,696	2,512
特別損失		
固定資産整理損失	—	100
特別損失合計	—	100
税金等調整前四半期純利益	1,696	2,411
法人税等	468	698
四半期純利益	1,228	1,713
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,228	1,713

四半期連結包括利益計算書
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	1,228	1,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,851	△1,905
繰延ヘッジ損益	△0	7
為替換算調整勘定	68	39
退職給付に係る調整額	201	243
その他の包括利益合計	2,121	△1,614
四半期包括利益	3,349	98
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,349	98
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モーション 機器	パワー エレクトロ ニクス機器	サポート& エンジニア リング	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,889	22,322	10,257	56,469	—	56,469
セグメント間の内部 売上高又は振替高	894	1,202	2,826	4,923	△4,923	—
計	24,783	23,525	13,083	61,392	△4,923	56,469
セグメント利益又は損失(△)	382	1,705	△329	1,758	△52	1,706

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モーション 機器	パワー エレクトロ ニクス機器	サポート& エンジニア リング	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,965	24,240	11,569	61,776	—	61,776
セグメント間の内部 売上高又は振替高	170	599	3,324	4,094	△4,094	—
計	26,136	24,839	14,894	65,870	△4,094	61,776
セグメント利益又は損失(△)	864	1,295	322	2,482	△50	2,431

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

2019年3月期(2018年度) 第3四半期決算補足説明資料(連結)

2019年2月8日

シンフォニアテクノロジー株式会社

1. 決算概要

(単位:百万円)

		2017年度	2018年度	前年同期比増減	増減率
		第3四半期累計(A)	第3四半期累計(B)	(B) - (A)	
売上高		56,469	61,776	5,307	9.4 %
営業利益	(%)	3.0%	3.9%	0.9%	42.5 %
		1,706	2,431	725	
経常利益	(%)	3.0%	4.1%	1.1%	48.1 %
		1,696	2,512	816	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(%)	2.2%	2.8%	0.6%	39.5 %
		1,228	1,713	485	

2. セグメント別情報

(1) 売上高・営業利益

(単位:百万円)

		2017年度	2018年度	前年同期比増減	増減率
		第3四半期累計(A)	第3四半期累計(B)	(B) - (A)	
モーション機器	売上高	23,889	25,965	2,076	8.7 %
	営業利益	382	864	482	126.2 %
パワーエレクトロ ニクス機器	売上高	22,322	24,240	1,918	8.6 %
	営業利益	1,705	1,295	410	24.1 %
サポート& エンジニアリング	売上高	10,257	11,569	1,312	12.8 %
	営業利益	329	322	651	-
調整額	売上高	-	-	-	-
	営業利益	52	50	1	-
合計	売上高	56,469	61,776	5,307	9.4 %
	営業利益	1,706	2,431	725	42.5 %

(2) 受注高

(単位:百万円)

	2017年度 第3四半期累計(A)	2018年度 第3四半期累計(B)	前年同期比増減	
			(B) - (A)	増減率
モーション機器	29,123	29,712	589	2.0 %
パワーエレクトロニクス機器	28,686	26,589	2,096	7.3 %
サポート&エンジニアリング	13,060	14,991	1,930	14.8 %
合計	70,870	71,293	423	0.6 %

(3) 受注残高

(単位:百万円)

	2017年度 第3四半期累計(A)	2018年度 第3四半期累計(B)	前年同期比増減	
			(B) - (A)	増減率
モーション機器	27,006	29,503	2,497	9.2 %
パワーエレクトロニクス機器	24,101	24,475	373	1.6 %
サポート&エンジニアリング	9,118	10,079	960	10.5 %
合計	60,226	64,057	3,831	6.4 %

3. 海外売上高

(単位:百万円)

	2017年度 第3四半期累計(A)	2018年度 第3四半期累計(B)	前年同期比増減	
			(B) - (A)	増減率
海外売上高	13,370	13,926	555	4.2 %
海外売上高比率(%)	23.7%	22.5%	1.2%	

4. 設備投資、減価償却費及び研究開発費

(単位:百万円)

	2017年度 第3四半期累計(A)	2018年度 第3四半期累計(B)	前年同期比増減	
			(B) - (A)	増減率
設備投資	2,417	2,948	530	22.0 %
減価償却費	1,532	1,607	74	4.9 %
研究開発費	1,620	1,848	227	14.0 %